

# 一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信  
令和 8年 4月 24日 第3号  
発行 校長 村上謙一

## 【避難訓練】

4月13日(月)、地震を想定した避難訓練を行いました。今回から防災頭巾をつけての訓練です。地震が起こったその時に、誰一人欠けることなく避難ができる。そのための改善のひとつです。



## 【退任式】



4月14日(火)、異動された8人の先生をおむかえして退任式を行いました。人懐っこい一西の子供は、先生方とのお別れも熱烈でした。グランドには中学生になった卒業生の姿もありました。

## 【一西小が育む4つの力】

**学校はそこにあるものではなく、みんながつくっていくものです。**だから一人ひとりが学校をつくる**当事者意識**が必要です。また、「こんなことがしたい！」という気持ち、つまり**主体性**も必要です。それは子供も、先生も、地域の大人も同じです。だから教育目標は「**自分がつくる、みんなの一西小**」です。

学校をつくっていくのに必要な力は「**人を大切に作る力**」「**自分の考えをもつ力**」「**自分を表現する力**」「**チャレンジする力**」の4つです。一西小は全教育活動で4つに力を育てることに教育資源を集中します。これにつながらないものは断捨離して余白を生み出します。このようなメリハリのある学校運営で、子供たちが登校することに意味を見出せる学校づくりをしています。

## 【タブレットの使い方 お家で確認してください】

- 1、発信する内容は、他者の発信の単なる拡散であっても、それは「引用先」を明示しない限り、発信者の考えとされる。
  - 2、いったん発信した内容は、みずから削除しても、それは決して消えません。発信した内容が将来に影響することがあります。就職、地位確認などで調べられることがあります。
- ちょっとむずかしい言葉がなりました。教室やお家で大人といっしょに考えてください。タブレットやスマートフォン、ゲーム機器で簡単に情報発信ができます。便利さのかけに危険がひそんでいます。危険が何なのかを知って、便利なツールをかしこく使う力をつけなくてはなりません。

## 【日本財団の18歳意識調査から】

この調査は本年2月4日～24日に、日本、米国、英国、中国、韓国、インドの6か国の17～19歳の男女1000人を抽出し、インターネットで実施した国際的な調査です。

日本の若者の特徴としては「**自分の行動で、国や社会を変えられると思う**」「**私はありのままの自分で、安心して過ごせる環境にあると思う**」「**私は子供や若者としての自分の権利を意識していると思う**」の3項目で他国と10ポイント以上低い結果が出ています。この傾向は、我が国の教育改革の中心的課題であり、中教審で審議されている内容と一致します。

本校では昨年始まった「プロジェクト委員会」や2年目となる「マラソン大会づくり」が学校(社会)を変える具体的な学びです。「ありのまま安心できる教室環境づくり」に向けて、担任一人の個性ではなく、多重多層な個性で子供を支援するのが「チーム担任制」です。また校則の見直しを子供が行うことは「子供の権利」を意識させる取り組みです。本校の子供に表題の調査をしたら、どんな結果が出るでしょうか。楽しみでもあります。